

NPO 法人岡崎がくどうの会

## 2023 年度学童保育指導員研修新任研修レポート

第 1 講義 『学童保育とは-歴史と役割、学童保育指導員の倫理』

第 2 講義 『健康・安全・衛生-1-子どもの受け入れ、健康管理-』

第 3 講義 『一日の仕事・打ち合わせ・記録-』

第 4 講義 『緊急時の対応・日々の安全と緊急時の対応-』

第 5 講義 『健康・安全・衛生-2-衛生管理・食品管理等日々の衛生-』

第 6 講義 『保護者との関係・地域関係機関との連携・保育の役割を果たすために-』

【クラブ】（ 風の子クラブ ） 【名 前】（ 滝川貴水 ）

全 6 回の講義で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

自分が知るべき内容とそうでないものの区別がつけられずにいたので今回、全 6 回の講義を聴けて良かったです。学童保育の歴史や役割も知らないことがたくさんありました。

実践に活かしていきたいことですが、まずは学童保育で管理している事故や怪我に関するマニュアルであったり、緊急連絡先など情報を確認し、正しく理解するところからスタートだなあと思いました。講義を聞いた直後には「よし、やろう」と思っていたても、いざ学童保育へ出勤すると目の前のことに気を引かれて確認を忘れてしまうので、毎日ひとつでも覚えて帰りたいです。

つぎに、一日の仕事の打ち合わせや記録について積極的に取り組んでいきたいことは、ちょっと気になる、をもっと共に働く指導員の人たちと共有することです。自分の気になることは些細なことかもしれないと思っていたけれど、講義を聴きそれぞれ気になるポイントが違うということを改めて実感しました。些細なことが重なり大きな問題になることもあるので、気がついたら直ぐに報告、相談を心がけていきたいです。記録については、やはりその都度メモに残さないと保育記録に書き忘れてしまうことがあるので、メモする習慣を身に付けられたらなあと思いました。誰がみてもわかりやすい状況の説明であったりと、書き方も工夫できたらなあと思います。

最後に、保護者との関係の部分で、私自身も保護者のお迎えの対応をするときがあるのですが、子どもの帰りの準備を手伝うだけで保護者との会話ができずにいました。保護者もどんな人が指導員にいるのか、子どもはどう過ごしているのかなど気になると思うので、積極的に話しかけていきたいと思いました。言葉でも今日の様子を伝えることを大切にしたいです。

講義のほとんどがわかりやすい内容でした。中でもイラストを使い、どんな事故や怪我につながるのかを考える講義があったのですが、とてもわかりやすく、みんなで話しながら学びやすい教材だと感じました。周りの状況により、大事故にも繋がるので、遊びの中に潜む危険やリスクに注意しながら、子どもたちとの時間を過ごしたいです。